はじめに

日本語習得の主役は学習者であるというのが本書の考え方です。学習者は、辞書を引きながら本文を勉強したり、CD を聞きながら本文を繰り返し練習したり、教室で先生の質問に答えたり、先生が示すモデルに従って模倣練習をしたり、クラスメートとペアでやり取りをしたり、ワークシートで語彙や文法の確認や練習をしたり、与えられたテーマについて作文を書いたり、先生に直してもらった作文を読み直したりクラスメートと交換したり、教室の外で友人と話をしたりするなど、さまざまな学習活動を通して日本語を習得していきます。「日本語を教える」というのは、そのような学習者の営みを演出し、支援することです。

本書『NEJ：A New Approach to Elementary Japanese — テーマで学ぶ基礎日本語』は、基礎(初級)日本語の教科書です。しかし、従来の教科書のように文型・文法事項を中心とした教科書ではなく、テーマ(何かについて話すこと)を中心に編まれた教科書です。学習者は各ユニットで、さまざまな学習活動を通して、そこで設定されているテーマについて自分のことが話せるようになります。そして、同時に、一連のユニット学習を通して、語彙や文法が体系的に学習できるようになっています。本書での学習を修了した段階で、学習者はさまざまなテーマについて自分のことが話せるようになるとともに、日本語能力試験Ｎ４の重要な語彙、文型・文法事項、漢字を総合的に習得することができます。

そのような学習と学習指導の土台となるのが本書です。本書を使って日本語を学習することで、楽しく充実した日本語の学習と学習指導が広まっていくことを願っています。

西口光一

著作権保護コンテンツ」

CONTENTS

『NEJ［vol.2］』の構成 ....p.v ／『NEJ』の特長 ....p.vi ／ 凡例 ....p.viii ／ Explanatory Notes....p.x
学習者のみなさんへ ....p.xii ／ For the Learners ....p.xiv ／ 授業の流れ ....p.xvi
The Characters Appearing in the Textbook....p.xvii

	タイトル	テーマ	トピック	文型・文法事項
Unit 13 p.1	**My Daily Life** 毎日の生活	□毎日の生活について順序立てて話す	日常生活、放課後、帰宅後、夜のこと	• ～たら • ～てから • ～とき • ～ながら
Unit 14 p.9	**My Recreation** わたしの楽しみ	□趣味、好きなことについて話す	読書、スポーツ、マンガ、音楽、映画、アニメ、山登り、写真	• ～(する)こと／～(する)の
Unit 15 p.19	**My Future** わたしの将来	□将来の希望、やりたいことについて話す	将来のこと、進学、就職、大学院、研究、仕事、結婚、家事・育児	• ～つもりです • ～と思います • ～だろうと思います／～んじゃないかと思います／～かもしれません／～かどうか(まだ)わかりません／～か～か、(まだ)決めていません
Unit 16 p.27	**Abilities and Special Talents** できること・できないこと	□自分のできることや、食べられるものについて話す	話せる言語、読める言語、書ける言語、好み、料理、食べられるもの、作れる料理	• 可能表現
Unit 17 p.37	**Gifts** プレゼント	□あげたり、もらったりしたプレゼントについて話す	誕生日、クリスマス、プレゼント、おこづかい、もらってうれしかったもの	• 授受表現 あげる、もらう、くれる
Unit 18 p.45	**Support, Assistance, and Kindness** 親切・手助け	□親切にされたり、助けられたりしたことについて話す	家族や友人の手伝い、見送り、助けてもらったこと、親切にされたこと、教えてもらったこと、留学、海外出張	• 動詞＋授受の表現① ～てもらう、～てくれる

著作権保護コンテンツ」

	タイトル	テーマ	トピック	文型・文法事項
Unit 19 p.57	**Visits** 訪問	□人から聞いた話や、自分が見たものについて話す	出張、知らない場所の情報、お見舞い、訪問、訪問先の様子、看病、手助け	• 動詞＋授受の表現② 〜てあげる • 〜そうです（伝聞） • 〜そうです（様態）
Unit 20 p.65	**Praises, Scoldings, and Requests I Got from Someone Else** ほめられたこと・しかられたこと	□ほめられたり、しかられたりした経験について話す	ほめられたこと、しかられたこと、頼まれたこと、しつけ、依頼、子どもの頃のこと、昔のこと	• 受身表現①（他者からの褒めや叱りや言語的な働きかけなどを受ける） • 〜ように言われました
Unit 21 p.73	**Making or Allowing** しつけ（1）	□兄弟に対する厳しいしつけや、自分に対するしつけへの反抗について話す	しつけ、兄弟の話、させられたこと、させてもらえなかったこと、嫌いな食べ物、親が兄弟にさせたこと、親が自分にさせようとしたが抵抗したこと	• 使役表現 • 〜(さ)せてくれました • 〜(さ)せようとしました • 〜てほしい
Unit 22 p.83	**Someone Forces/ Allows Me** しつけ（2）	□学校で受けた指導や、子どもの頃に親から受けたしつけについて話す	指導、しつけ、勉強、させられたこと、できるようになったこと	• 使役受身表現 • 〜なりました（状態・能力・習慣の変化）
Unit 23 p.91	**Miserable Experiences** ひどい経験	□大変な思いをした経験について話す	ひどい経験、残念だったこと、がっかりしたこと、疲れたこと	• 受身表現②（他者からの物理的な行為を受ける） • 〜てしまう • 〜(する)と①（時）
Unit 24 p.99	**Geography, Linguistics, and Climate** 言語・地理・気候	□自分の国のことについて話す	言語の成り立ち、言語の使用状況、地理、気候	• 受身表現③（物が主語の受身） • 〜(する)と②（条件）
Supplementary Unit p.107	**Towards the Future** 新しい世界	□新しく挑戦することへのきっかけ	心配、勧誘、挑戦、サークル活動、中学・高校の勉強、大学の勉強、大学生活で経験すること	• 〜(れ)ば • 〜ればいいか

著作権保護コンテンツ」

Appendix

Table 1. い形容詞（=い-Adjectives）e.g. 高い本、高くて p.122
Table 2. な形容詞（=な-Adjectives）e.g. 親切な人、親切で p.123
Table 3. Inflectional verbs（=Group I verbs, *u*-verbs）and their inflections p.124
Table 4. Stem verbs（=Group II verbs, *ru*-verbs） p.125
Table 5. Irregular verbs（=Group III verbs）and their inflections p.125

■ Vocabulary....p.127 ■ INDEX....p.134 ■ INDEX OF GRAMMAR....p.160
■著者紹介 p.168

The Gist of Japanese Grammar

Unit 13 p.7
(1) ～たら① vs. ～てから
(2) ～たら②
(3) ～ながら

Unit 14 p.17
(1) The Dictionary Form of the Verb
(2) こと vs. の

Unit 15 p.25
(1) Noun-modifying Clause
(2) (まだ)～ていません
(3) ～たいと思っています

Unit 16 p.34
(1) Potential Form of the Verb
(2) ～(する)前
(3) ～なので
(4) ので vs. から
(5) ～(する)ようになりました
(6) How to Combine an Adjective to と思います

Unit 17 p.43
(1) あげる, もらう and くれる
(2) さしあげる, いただく and くださる
(3) どれも vs. みんな

Unit 18 p.54
(1)「～に～てもらいました」or「～から～てもらいました」
(2) ～てくれました and ～てあげました
(3) 親切に教えてくれました

Unit 19 p.63
(1) そうです① vs. そうです②
(2) そうです① vs. らしいです
(3) ～てみる

Unit 20 p.71
(1) Passive Expressions
(2) ～ように言われました

Unit 21 p.81
(1) Causative Expression
(2) ～(さ)せてくれました and ～(さ)せてくれませんでした
(3) ～(さ)せようとしました
(4) ～てほしいです and ～てほしいと思っています
(5) 何でも vs. 何も

Unit 22 p.89
(1) Causative-Passive Expression
(2) Expressions about Changes of State / Ability / Customs / Practices

Unit 23 p.97
(1) ～に: indicating the source / cause of suffering in questions within passive expressions
(2) ～てしまいました
(3) ～(する)と①
(4) ～ようです
(5) ～(する)ことになりました

Unit 24 p.105
(1) ～(する)と②
(2) ～が一番～

Supplementary Unit p.117
(1) Conditional Expressions : ～れば, ～たら and ～と
(2) ～てあります
(3) ～ておきます
(4) ～よ and ～ね
(5) 何か－何も, 誰か－誰も, 誰かに－誰にも and どこかに－どこにも
(6) ～すぎる
(7) ～んです or ～のです
(8) ～なさい
(9) ～ようと思います
(10) ～ようとしても
(11) ～わけではありません
(12) ～始める, ～続ける and ～終わる

著作権保護コンテンツ」

『NEJ [vol.2]』の構成

本 冊

■ Unit 13 ～ Unit 24

- **Section 1** Personal Narratives ［マスターテクスト］
- **Section 2** Summary of the Main Grammar Points
- ○The Gist of Japanese Grammar
- ○ Essay Writing

■ Supplementary Unit

- **Section 1** Personal Narratives ［マスターテクスト］
- **Section 2** Summary of the Main Grammar Points
- ○The Gist of Japanese Grammar

■ Appendix　Table 1～Table5：Adjective and verb inflections
形容詞と動詞の活用表

別 冊

■ Review of the Basic Kanji
■ Writing Practice Sheets（※ Unit 13 から Unit 24 までの書き方練習シート）
■ Grammar Practice Sheets（※ Unit 13 から Unit 24 までの文法練習シート）

音 声

■音声は、以下のWEBサイトよりダウンロードしてください。
Please download the sound files from the website which correspond to the sound file serial number.

no.00

http://nej.9640.jp

『NEJ』シリーズ関連書籍

■『NEJ：A New Approach to Elementary Japanese［vol.1］』
■『NEJ：指導参考書』（音声CD、イラスト集CD-R付き）
○本書を用いての詳しい指導方法は、『指導参考書』（別売り）をご参照ください。
○『指導参考書』には、本書の音声CDが付属されています。
○『指導参考書』には、本書のイラスト集がCD-Rで付属されています。

著作権保護コンテンツ」

『NEJ』の特長

ＮＥＪの特長

□ 自己表現活動

『NEJ：A New Approach to Elementary Japanese ― テーマで学ぶ基礎日本語』（以下『NEJ』）は、留学生や一般成人を対象とした、自己表現活動中心の基礎（初級）日本語教科書です。「自己表現活動中心の」というのは、目次を見ればわかるように、各ユニットでそれぞれのテーマについて自分のことが話せるようになることを目標としてカリキュラムが計画されているということです。

□ マスターテクスト・アプローチ

『NEJ』のもう一つの大きな特長は、独自のマスターテクスト・アプローチを採用していることです。『NEJ』では主に３人の人物、具体的には、リさん（大学１年生（留学生））、あきおさん（大学４年生）、西山先生（教師）が登場します。各ユニットでは自己表現活動に関するテーマが設定されていて、Section 1でこれらの登場人物がそのテーマについて自分の話をします。これが各ユニットの**Section 1のPersonal Narrativesで、それをマスターテクストと呼びます**。学習者はこのマスターテクストを勉強し、それをモデルにして話し方を練習することで自分の話ができるようになります。マスターテクストには、学習者がユニットのテーマについて話すためにほぼ十分な語彙と表現法が盛り込まれています。

『NEJ』は、上記のように自己表現活動中心に編まれながら、同時に24のユニット（vol. 1 , vol. 2）を通して、文型・文法事項を系統的に、語彙を体系的に学習できるように作成されています。『NEJ』で日本語を学習することで、さまざまな自己表現活動ができるようになるだけでなく、日本語の基礎力も着実に身につけることができます。

以下では、『NEJ』のユニットを構成しているいろいろなコンポーネントを紹介します。その中で、その他の特長を説明します。

各セクションの活動について

▶ Personal Narratives［マスターテクスト］：Section 1

ユニットのテーマについて登場人物たちが話す、学習の核となるテクスト（マスターテクスト）です。明瞭でスムーズに言えるようになるまでしっかり練習してください。また、教室での質疑応答、練習のときも、参照してください。

▶ Summary of the Main Grammar Points：Section 2

そのユニットの主要文法事項が使用されている、Section 1のマスターテクストの中の文をすべてリストアップしています。家庭学習では、各文の理解を確認してください。授業では、順に音読させた後に、質問－答えにより理解を確かめてください。

著作権保護コンテンツ」

▶ Additional Grammar Points

各ユニットのとびらページに、Section 1のマスターテクストで新たに使用されている追加的文法事項(additional grammar points)を挙げています。追加的文法事項は本文内の注釈などの説明により意味がわかり、マスターテクストに習熟しさえすれば、習得できる事項ですので、授業で取り立てて指導する必要はないでしょう。

▶ The Gist of Japanese Grammar

重要な文法事項について、学習者に有益な知識に絞って簡潔に説明しています。GJG(the gist of Japanese grammarの略)で文法説明を受けることで、学習者は納得して安心して口頭練習などに集中することができます。

▶ Essay Writing

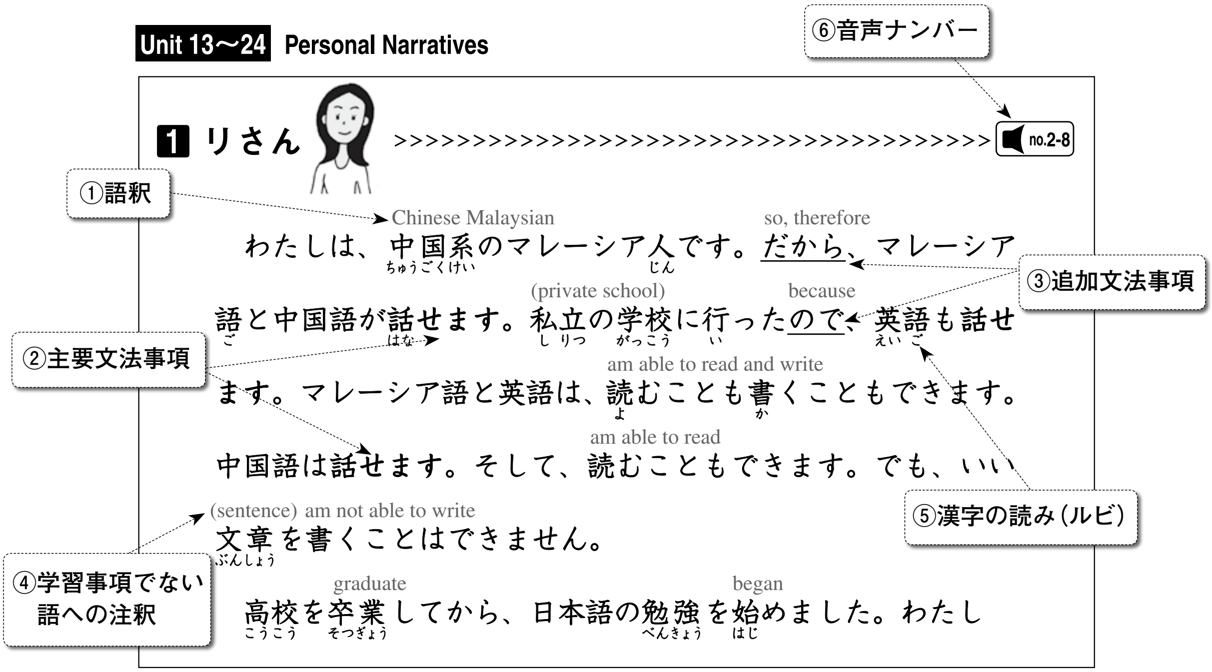
ユニットの学習の帰着点となるのが、エッセイを書くことです。学習したマスターテクストをモデルにして、そこから語や表現法を「盗み取って」エッセイを書くように指導してください。
※Supplementary Unitでは、Essay Writingはありません。

▶ Supplementary Unit

NEJの全24ユニットで基礎日本語の学習は終了です。一方で、一般的な初級日本語課程ではその他のやや進んだ文型・文法事項がしばしば教えられます。そのような文型・文法事項をカバーするために、Unit 24に続いてSupplementary Unitを設けました。Supplementary Unitではそのような内容を扱っていますので、各プログラムの必要に応じて活用してください。

著作権保護コンテンツ」

凡　　例［Section 1 Personal Narratives］



①語釈

新出の語や表現には、語釈を付けました。既出の語でも、まだ習熟していないかもしれないものには、語釈を付けました。

②主要文法事項（=Main Grammar Points）

ユニットの主要文法事項の部分は、太字にしています。

③追加文法事項（=Additional Grammar Points）

ユニット学習の主要目標とはしないが、重要で有用な文法事項を下線で示しました。

④学習事項でない語への注釈

Personal Narrativesでは、一部学習事項でない語を使用しています。それらの語については、（　）で語釈を付けています。

⑤漢字の読み（ルビ）

すべての漢字語について、１つのPersonal Narrativesで初出時にひらがなで読みを振っています。ユニット７（vol.1）以降では、「日本」「日本人」「日本語」には読みを振っていません。

⑥音声ナンバー

音声はナンバーに従ってWEBサイトからダウンロードしてください。→http://nej.9640.jp

著作権保護コンテンツ」

■パラレルテキスト

1 りさん >> no.2-8

わたしは、中国系のマレーシア人です。だから、マレーシア語と中国語が話せます。私立(private school)の学校に行ったので、英語も話せます。マレーシア語と英語は、読むことも書くこともできます。中国語は話せます。そして、読むこともできます。でも、いい文章(sentence)を書くことはできません。

高校を卒業してから、日本語の勉強を始めました。わたしは中国系なので、漢字の意味はだいたいわかります。漢字の書き方も、わかります。ですから、日本語の勉強は、あまりたいへんではありませんでした。今は、日本語が話せますし、学校の本も読めます。でも、レポートなどは、まだうまく書けません。漢字の読み方も、時々わかりません。

>>>

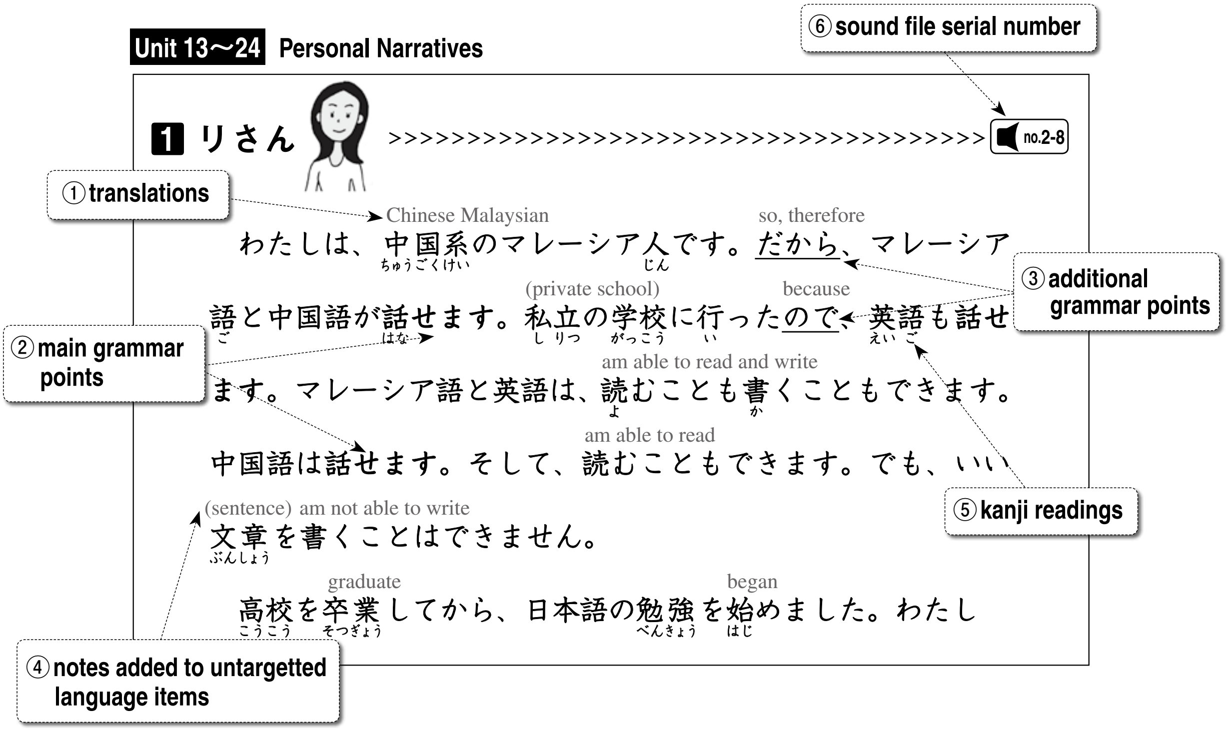
わたしは、中国系(ちゅうごくけい / Chinese Malaysian)のマレーシア人(じん)です。だから(so, therefore)、マレーシア語(ご)と中国語が話(はな)せます。私立(しりつ)(private school)の学校(がっこう)に行(い)ったので(because)、英語(えいご)も話せます。マレーシア語と英語は、読(よ)むことも書(か)くこともできます(am able to read and write)。中国語は話せます。そして、読むこともできます(am able to read)。でも、いい文章(ぶんしょう)(sentence)を書くことはできません(am not able to write)。

高校(こうこう)を卒業(そつぎょう)(graduate)してから、日本語の勉強(べんきょう)を始(はじ)め(began)ました。わたしは中国系なので(because)、漢字(かんじ)の意味(いみ)(meaning)はだいたい(for the most part)分(わ)かります。漢字の書き方(かた)(writing, how to write)も、分かります。ですから(so, there)、日本語の勉強は、あまりたいへんではありませんでした。今(いま)は、日本語が話せますし(and also)、学校の本(ほん)も読めます。でも、レポートなど(etc., and so forth)は、まだうまく書け(write well)ません。漢字の読み方(reading)も、時々(ときどき)分かりません。

Section 1のPersonal Narrativesは、パラレルテキストになっています。つまり、ルビや語釈などの補助付きテクストが右ページに、補助なしのプレーンテクストが左ページに提示されています。学習者は習得状況に応じて左右のページを使い分けることができます。

著作権保護コンテンツ」

Explanatory Notes [Section 1 Personal Narratives]



①translations

Newly-appearing words and phrases are provided with a translation. Words and phrases that have already appeared in the text but might have not been learned are also given with translations.

②main grammar points

The main grammar points of the unit are written in bold faced font.

③additional grammar points

Underlined parts are additional grammar points. Not being the targets of study in the unit, they are useful expressions to be noted.

④notes added to untargetted language items

Some untargetted language items are included in the Personal Narratives. These words and phrases are provided with translations written in parentheses.

⑤kanji readings

A reading in *hiragana* is added to every kanji-word as of when it first appears in a Personal Narrative. However,「日本」,「日本人」and「日本語」readings are not included after Unit7(vol.1).

⑥sound file serial number

Please download the sound files from the website which correspond to the sound file serial number. →http://nej.9640.jp

著作権保護コンテンツ」

■Parallel text

1 りさん >>> no.2-8

わたしは、中国系のマレーシア人です。だから、マレーシア語と中国語が話せます。私立(private school)の学校に行ったので、英語も話せます。マレーシア語と英語は、読むことも書くこともできます。中国語は話せます。そして、読むこともできます。でも、いい文章(sentence)を書くことはできません。

高校を卒業してから、日本語の勉強を始めました。わたしは中国系なので、漢字の意味はだいたいわかります。漢字の書き方も、わかります。ですから、日本語の勉強は、あまりたいへんではありませんでした。今は、日本語が話せますし、学校の本も読めます。でも、レポートなどは、まだうまく書けません。漢字の読み方も、時々わかりません。

>>>

わたしは、中国系(ちゅうごくけい)[Chinese Malaysian]のマレーシア人(じん)です。だから[so, therefore]、マレーシア語(ご)と中国語が話(はな)せます。私立(しりつ)[(private school)]の学校(がっこう)に行(い)ったので[because]、英語(えいご)も話せます。マレーシア語と英語は、読(よ)むことも書(か)くこともできます[am able to read and write]。中国語は話せます。そして、読むこともできます[am able to read]。でも、いい文章(ぶんしょう)[(sentence)]を書くことはできません[am not able to write]。

高校(こうこう)を卒業(そつぎょう)[graduate]してから、日本語の勉強(べんきょう)を始(はじ)め[began]ました。わたしは中国系なので[because]、漢字(かんじ)の意味(いみ)[meaning]はだいたい[for the most part]分(わ)かります。漢字の書き方(かた)[writing, how to write]も、分かります。ですから[so, there]、日本語の勉強は、あまりたいへんではありませんでした。今(いま)は、日本語が話せますし[and also]、学校の本(ほん)も読めます。でも、レポートなど[etc., and so forth]は、まだうまく書けません[write well]。漢字の読み方[reading]も、時々(ときどき)分かりません。

Personal Narratives are presented in parallel form; while the right page presents the text with Kanji readings and notes, the left page simply presents 'plain' text. Learners may use either text as they deepen their understanding of the text.

著作権保護コンテンツ」

学習者のみなさんへ

革新的な教科書『NEJ』で日本語を学ぶ

『NEJ：A New Approach to Elementary Japanese — テーマで学ぶ基礎日本語』は、テーマ中心の言語教育（theme-based language instruction）を基礎日本語教育に応用した教科書です。言語の知識は異なる２つの観点から見ることができます。言語をコード（符合）のシステムとして見る見方と、言語を言語活動のプロトタイプの集合として見る見方です。従来の基礎（初級）日本語教科書は前者の観点に基づいて作成されています。そのような学習法では各課の学習が終わっても日本語を使って何かができるようになることはあまり期待できませんでした。それに対し、『NEJ』は後者の観点を採用しています。『NEJ』で日本語を勉強すれば、各ユニットで「日本語でこれができるようになった」という達成感を得ながら日本語を学習することができます。そして同時に、日本語のシステムを系統的に学ぶことができ、また語彙も体系的に習得することができるように作成されています。

『NEJ』の内容はCEFR（Common European Framework of Reference）のＡ２に対応しています。つまり、第１巻がＡ２.１に、そして第２巻がＡ２.２にそれぞれ対応しています。

『NEJ』の特長

□ マスターテクスト・アプローチ

学習すべきすべての文型・文法事項と語彙は、各ユニットのSection １(Personal Narratives)のマスターテクストに含まれています。（ただし、Unit１からUnit６のSection ２(Questions & Answers)で出てくる質問の言い方のみは例外となります。）マスターテクストは、本章で登場する３人の登場人物（リさん、あきおさん、西山先生の３人）による各ユニットのテーマについての「わたしの話」(personal narratives)です。学習者がするべきことは主に２つです。一つは、**マスターテクストをしっかりと理解して習熟することとマスターテクストについて質疑応答ができるようになることです。**そして、今一つは、**マスターテクストをモデルにしてそれをまねて自分の話を書くこととその書いたものに習熟することです。**この教科書では他にもいろいろな学習材料が提示されていますが、上の２つのことが『NEJ』での日本語学習の核となります。

□ ローマ字表記、英訳、語釈・文法注釈、ルビ（漢字の読み方）

Unit１からUnit４(vol.1)ではマスターテクストのローマ字表記を、さらにUnit１とUnit２(vol.1)では英語訳を提示しています。Unit３(vol.1)以降では詳しい語釈と文法注釈がマスターテクストに付されています。また、Unit８(vol.1)から最後のSupplementary Unit(vol.２)までは、注釈などがついたページとそれらがないページが左右パラレルに提示されています。ルビ（漢字の読み方）も、各テクストでの初出時に、語の下に示しています。

□ 主要文法事項を含む例文の提示と豊富なイラスト

第１巻でのUseful Expressionsに代わるSummary of Main Grammar Points (Section２)では、そのユニットの主要文法事項が使用されている、Section １のマスターテクストの中の文がすべてリストアッ

著作権保護コンテンツ」

プされています。また、大部分の例文にはイラストがついています。

□ The Gist of Japanese Grammar（日本語文法の要点）

重要な文法事項は、各ユニットの四角囲みになっているコラム「The Gist of Japanese Grammar」（略して GJG）で解説しています。GJG では、説明は最小限にとどめていますが、それぞれの文法事項の要点がよく理解できるようにしています。しかしながら、説明というのは単に文法知識を与えるだけのことです。文法知識を了解した上で、マスターテクストで実現されているような実際の使用のコンテクストの中でさまざまな言語事項を学習することが絶対的に重要です。

□ ひらがなとカタカナと漢字の学習

別冊で、ひらがなとカタカナと漢字を学習します。本書では、ひらがなとカタカナと 300 字の漢字（第１巻で 130 字、第２巻で 170 字）を勉強します。

□ Supplementary Unit（補足ユニット）

従来の初級日本語プログラムでは、その他のやや進んだ文法事項がしばしば扱われます。そのような文法事項をカバーするために Supplementary Unit を設けました。Supplementary Unit は必要に応じて勉強してください。

□ 音声

音声は音声番号に従って、WEB サイトよりダウンロードしてください。

no.00 → http://nej.9640.jp

本書での勉強の進め方

□ 各ユニットの勉強法

各ユニットの学習の中心は以下の２点です。

（1）マスターテクストをしっかりと理解して覚えることとマスターテクストについて質疑応答ができるようになること

（2）マスターテクストをモデルにしてそれをまねて自分の話を書くこととその書いたものをスラスラ言えるようになること

音声を聞きながら Section 1 の勉強から始めてください。音声をよく聞いて、リさんやあきおさんや他の登場人物が Personal Narratives で何を話しているか理解してください。理解の際にはイラスト、ふりがな、語釈や文法注釈などの補助を参照してください。そして、Section 1 を勉強するときに、GJG も勉強してください。そして、それ以降の Section を ➤ の指示に従って勉強してください。

著作権保護コンテンツ」

For the Learners

Learning Japanese with this Innovative Textbook

NEJ : A New Approach to Elementary Japanese applies of theme-based instruction in elementary Japanese. Knowledge of language may be seen in two different perspectives, i.e. firstly, language as a system of codes, and secondly, language as prototypes of language activities. Traditional elementary Japanese language textbooks adopt the former perspective. Learning Japanese in this way may not enable you to do anything with the language at the end of each lesson. NEJ adopts the latter perspective on language. By learning Japanese with NEJ you will be able to learn Japanese with a distinct sense of being able to do something or other using the language by the end of each unit. Also, at the same time, NEJ is designed and written in a way that will allow you to be able to both grasp the system of the Japanese language and acquire vocabulary systematically.

The contents of NEJ corresponds to A2 in CEFR (Common European Framework of Reference), with NEJ vol.1 corresponding to A2.1 and NEJ vol.2 to A2.2 respectively.

Special Features of NEJ

□ Mastertext Approach

All the structures and grammar points, and also the vocabulary items to be learned are included in the mastertext of Section 1(Personal Narratives) in each unit, with the exception of the interrogative expressions appearing in the conversational exchanges in Section 2(Useful Expressions) of unit 1 to unit 6. The mastertexts are personal narratives of three characters who appear through the textbook, namely Li-*san*, Akio-*san* and Nishiyama-*sensee,* on the theme of each unit. Students are expected to do two main things. One is **to understand and learn the mastertext thoroughly, and also to be able to handle questions and answers concerning the text**. The other thing is **to write up your own narrative using the mastertexts as models, and learn to be able to use it**. Although other materials are provided in the textbook, these two goals forms the core of study with NEJ.

□ Provision of Romanization, English Translation, Notes, and Kanji-word Readings.

A romanization of the mastertext in unit 1 to unit 4 and an English translation in unit 1 and unit 2 is provided. Starting from unit 3, careful notes on grammar and vocabulary are added to the text. Both annotated and plain text are presented in parallel form from unit 8 through the last unit. Readings of kanji-words are added below the word when the kanji-word first appears in each text.

□ Summary of the main grammar points and abundant illustrations

Instead of Useful Expressions as appeared in the vol.1, a Summary of the Main Grammar Points have been included. All the sentences in the mastertexts that have been constructed using the main grammatical structures are listed in this section. Also, many of them are accompanied with relevant illustrations.

著作権保護コンテンツ」

□ The Gist of Japanese Grammar

Important grammar points are explained in 'The Gist of Japanese Grammar' squared column, which appears in each unit. Though the explanation is kept to a minimum, you will get the gist of each grammar point. However, remember that explanations merely allow you to know the grammatical facts. Beyond these grammatical facts, you will always be expected to learn language items in their context of use as exemlpified in the mastertexts.

□ Learning *Hiragana, Katakana* and Kanji

Materials to practice and learn *hiragana*, *katakana* and kanji are also provided in the attached booklet of the textbook. You are going to learn all the *hiragana* and *katakana* and three hundred basic kanji in this textbook (vol.1 : 130, vol.2 : 170).

□ Supplementary Unit

Some other slightly advanced grammar items are often included in conventional elementary Japanese programs. A Supplementary Unit is provided in order to cover these items. Please study this unit as appropriate.

□ Audio material

Please download the sound files from the website which correspond to the sound file serial number.

no.00 → http://nej.9640.jp

How to Proceed with the Textbook

□ How to Proceed with each unit

The focus of learning in each unit should be placed on:

(1) Understanding and learning the mastertext thoroughly, and also to be able to handle questions and answers concerning the text,

(2) Writing up your own narrative using the mastertexts as models, and to learn to be able to use the text.

Please start studying with Section 1 while listening to the audio materials. Listen to the audio materials and understand what Li-*san*, Akio-*san* and other characters are talking about in the personal narratives. Please refer to the illustrations, kanji-words readings, vocabulary & grammar notes, and other aides when you study the text. Also, study 'The Gist of Japanese Grammar', as you study Section 1. Continue studying with the following sections, marked with ➢.

著作権保護コンテンツ」

授業の流れ

授業の流れは以下のようになります。

1 **マスターテクストの朗唱練習をする** **Section 1** **Personal Narratives**

↓

2 **マスターテクストの質疑応答練習をする** **Section 1** **Personal Narratives**

①マスターテクストの質疑応答練習をする。

②マスターテクストと同様の内容について学習者に当てはめた質問ー答えの練習をする。

③マスターテクストについて学習者同士で質疑応答練習をする。

↓

3 **文法を中心としてマスターテクストの復習をする、漢字の学習をする**

別 冊 **文法練習シート(Grammar Practice Sheets)**

別 冊 **書き方練習シート(Writing Practice Sheets)**

↓

4 **マスターテクストを参考にしてエッセイ(作文)を書く→発表する**

このように、各ユニットの学習はユニットのテーマについて各自が自分のことを書いて発表することに帰着するようになっています。学習者がマスターテクストをモデルにして自分のエッセイが書けて、それをクラスメートなどにスラスラと言えるようになれば、そのユニットでの学習は「合格」です。

著作権保護コンテンツ」

The Characters Appearing in the Textbook

Li-*san* : A Malaysian student of Daikyo University. Li-*san* came to Japan this April to study engineering. Her family live in Malaysia. She has two brothers and two sisters. She is an independent young woman and works very hard, which can sometimes cause her trouble.

Akio-*san* : A student of Daikyo University. Akio-*san* is a senior student in the faculty of engineering. He likes to climb mountains and is the captain of the climbing team of the university. He is a cheerful and kind person, and the members of the climbing team love and respect him.

Nishiyama-*sensee* :

A professor in Japanese language pedagogy at Daikyo University. Nishiyama-*sensee* likes to teach Japanese and also studies linguistics. He is married and has two children. His wife is also a professor specialising in Japanese studies.

著作権保護コンテンツ」

Unit 16

Abilities and Special Talents

できること・できないこと

Theme

☐ **Talking about one's abilities or special talents**

Main Grammar Points

☐ **Potential Expression**

ex. わたしは、マレーシア語と中国語が**話せます**。

日本の食べ物は、何でも**食べられます**。

Additional Grammar Points

☐ adjective ＋と思います：日本の食べ物は、とてもおいしいと思います。

☐ ～方〈how to ～〉：漢字の書き方も、分かります。

☐ ～(する)前〈before ～〉：結婚する前は、わたしは料理ができませんでした。

☐ ～ので〈because ～〉：わたしは中国系なので、漢字の意味はだいたい分かります。

☐ ～(する)ようになりました〈began to ～〉：

結婚してから、料理をするようになりました。

※ You will study '～(よう)になりました' fully in Unit 22.

☐ だから / ですから〈so, therefore〉：ですから、日本語の勉強は、あまりたいへんではありませんでした。

☐ 何でも〈whatever〉：日本の食べ物は、何でも食べられます。

☐ 自分で〈by oneself〉：最近は、バジルソースも、自分で作るようになりました。

著作権保護コンテンツ」

Section 1

Personal Narratives

➢ Study and practice saying the text aloud while listening to the audio. Also, practice questioning and answering using the text.

A. できる言語（げんご）

1 リさん

>> no.2-8

わたしは、中国系のマレーシア人です。だから、マレーシア語と中国語が話せます。私立(private school)の学校に行ったので、英語も話せます。マレーシア語と英語は、読むことも書くこともできます。中国語は話せます。そして、読むこともできます。でも、いい文章(sentence)を書くことはできません。

高校を卒業してから、日本語の勉強を始めました。わたしは中国系なので、漢字の意味はだいたい分かります。漢字の書き方も、分かります。ですから、日本語の勉強は、あまりたいへんではありませんでした。今は、日本語が話せますし、学校の本も読めます。でも、レポートなどは、まだうまく書けません。漢字の読み方も、時々分かりません。

著作権保護コンテンツ」

>>

　わたしは、中国系(ちゅうごくけい)[Chinese Malaysian]のマレーシア人(じん)です。だから[so, therefore]、マレーシア語(ご)と中国語が話(はな)せます。私立(しりつ)[(private school)]の学校(がっこう)に行(い)ったので[because]、英語(えいご)も話せます。マレーシア語と英語は、読(よ)むことも書(か)くこともできます[am able to read and write]。中国語は話せます。そして、読むこともできます[am able to read]。でも、いい文章(ぶんしょう)[(sentence)]を書くことはできません[am not able to write]。

　高校(こうこう)を卒業(そつぎょう)[graduate]してから、日本語の勉強(べんきょう)を始(はじ)め[began]ました。わたしは中国系なので[because]、漢字(かんじ)の意味(いみ)[meaning]はだいたい[for the most part]分(わ)かります。漢字の書き方(かた)[writing, how to write]も、分かります。ですから[so, therefore]、日本語の勉強は、あまりたいへんではありませんでした。今(いま)は、日本語が話せますし[and also]、学校の本(ほん)も読めます。でも、レポートなど[etc., and so forth]は、まだうまく書け[write well]ません。漢字の読み方[reading]も、時々(ときどき)分かりません。

著作権保護コンテンツ」

B. 食べられるもの

1 リさん >> no.2-9

　わたしは、食べることが好きです。日本の食べ物は、とてもおいしいと思います。そして、ヘルシーだと思います。おすしや、さしみが、大好きです。天ぷらも、大好きです。お好み焼きやたこ焼きも、好きです。日本の食べ物は、何でも食べられます。でも、納豆だけは、**食べられません**。納豆はにおいがひどいと思います。

著作権保護コンテンツ」

\>>>

　わたしは、食(た)べることが好(す)きです。日本の食べ物(もの)は、とてもおいしいと思(おも)います (I think)。そして、ヘルシー (healthy) だと思います。おすしや、さしみが、大(だい)好きです。天(てん)ぷらも、大好きです。お好(この)み焼(や)きやたこ焼きも、好きです。日本の食べ物は、何(なん)でも (anything) 食べられます。でも、納豆(なっとう) (femented soybeans) だけは、食べられません。納豆はにおい (smell) がひどい (terrible) と思います。

著作権保護コンテンツ」

C. できる料理

2 西山先生
にしやませんせい

>>> no.2-10

結婚する前は、わたしは料理ができませんでした。結婚してから、料理をするようになりました。今は、少し料理ができます。

得意な料理は、カレーとパスタです。カレーは、日本のカレーと、インドのカレーと、タイのカレーが作れます。パスタは、シンプルなペペロンチーノ (aglio e olio peperoncino) や、シーフードとトマトソースのパスタや、バジルソース (basil sauce) のパスタなどが作れます。最近は、バジルソースも、自分で作るようになりました。簡単な日本の料理も、作れます。

著作権保護コンテンツ」

>>>

結婚(けっこん)する前(まえ)[before]は、わたしは料理(りょうり)ができませんでした。結婚してから、料理をするようになりました[began to cook]。今(いま)は、少(すこ)し料理ができます。得意(とくい)[favorite]な料理は、カレー[curry]とパスタ[pasta]です。カレーは、日本のカレーと、インド[India]のカレーと、タイ[Thai]のカレーが作(つく)れます。パスタは、シンプル[simple]なペペロンチーノ[(aglio e olio peperoncino)]や、シーフード[seafood]とトマト[tomato]ソース[sauce]のパスタや、バジルソース[(basil sauce)]のパスタなどが作れます。最近(さいきん)は、バジルソースも、自分(じぶん)で[by myself]作るようになりました。簡単(かんたん)[simple, easy to prepare]な日本の料理も、作れます。

著作権保護コンテンツ」

Summary of the Main Grammar Points

➢ Study the expressions while refering back to the narratives in Section 1.

(1) Potential Expression

(話す：話します⇒話せます)

1. わたしは、マレーシア語(ご)と中国語(ちゅうごくご)が話(はな)せます。英語(えいご)も話せます。

(読む：読みます⇒読めます)

2. 今(いま)は、日本語が話せますし、学校(がっこう)の本(ほん)も読(よ)めます。

(書く：書きます⇒書けます)

3. でも、レポートなどは、まだうまく書(か)けません。

(食べる：食べます⇒食べられます)

4. 日本の食(た)べ物(もの)は、何(なん)でも食べられます。でも、納豆(なっとう)だけは、食べられません。

(作る：作ります⇒作れます)

5. 日本のカレーと、インドのカレーと、タイのカレーが作(つく)れます。

6. 簡単(かんたん)な日本料理(りょうり)も、作れます。

The Gist of Japanese Grammar

(1) Potential Form of the Verb

If you change the vowel preceding ます into ‘e’, you will get the potential form of the inflectional verb in polite style. Study the lines along with the arrows in the following diagram:

	か-line	さ-line	た-line	ま-line	ら-line	わ-line	
	ka 書かない	sa 話さない	ta 持たない	ma 読まない	ra 作らない	wa 買わない	
	↑	↑	↑	↑	↑	↑	
⇨	書(か)き~~ます~~ ki	話(はな)し~~ます~~ shi (si)	持(も)ち~~ます~~ chi (ti)	読(よ)み~~ます~~ mi	作(つく)り~~ます~~ ri	買(か)い~~ます~~ i (wi)	
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
⇨	書けます ke	話せます se	持てます te	読めます me	作れます re	買えます e (we)	polite style
⇨	書ける	話せる	持てる	読める	作れる	買える	polite style

著作権保護コンテンツ」

In order to form potential verb phrase with a stem verb, just add 〜られる（plain style） or 〜られます（polite style） to the stem of the verb.

- 食べる → 食べられる → 食べられます
- 見る → 見られる → 見られます
- 着る → 着られる → 着られます

Though 帰る，入る and 切る（cut） may seem to be stem verbs, they are inflectional verbs.

帰**り**ます	入**り**ます	切**り**ます
↓	↓	↓
帰**れ**ます	入**れ**ます	切**れ**ます
↓	↓	↓
帰**れ**る	入**れ**る	切**れ**る

Potentitial forms of 来る and する are 来られる and できる respectively.

(2) 〜（する）前

Present or non-past form of a verb is used **before 前** irrespective of the tense of the sentence. Please note that '結婚<u>する</u>'（present form of する, rather than past form した） is used in '結婚<u>する</u>前は、わたしは料理ができませんでした。'（p.32 l.1） even though the tense of the main sentence is past.

(3) 〜なので

Noun＋です changes into **Noun**＋**な before 〜ので**. Study the following diagramic explanation:

わたしは中国系<u>な</u>ので、漢字の意味はだいたい分かります。

↑

わたしは中国系<u>です</u>＋ので

(4) ので vs. から

Though both 〜ので and 〜から express cause or reason, **から often sounds arrogant** if not used properly. It is advisable to limit the use of **から within response to** なぜ（**why**）**-questions**. In all the other cases, **please use ので**. Study the following examples:

1. わたしは中国系な<u>ので</u>、漢字の意味はだいたいわかります。（correct）
2. ？わたしは中国系です<u>から</u>、漢字の意味はだいたいわかります。
（This use of から may sound arrogant.）
3. A：なぜ、漢字の意味がわかりますか。
B：わたしは中国系です<u>から</u>。（correct）

(5) 〜（する）ようになりました

〜（する）ようになりました simply means '**began to** 〜' as in '結婚してから、料理をするようになりました。（I began to cook after I got married.）'. You will study 〜ようになりま

著作権保護コンテンツ」

した fully in Unit 22.

(6) How to Combine an Adjective to と思(おも)います

Study the following examples, and learn how to combine an adjective to と思います .

□ い-adjective ＋と思(おも)います

1. 日本の食(た)べ物(もの)は、とても**おいしい** **と思います。**

↑

おいしい~~です~~

2. 納豆(なっとう)は、においが**ひどい** **と思います。**

↑

ひどい~~です~~

□ な-adjective ＋と思います

1. 日本の食(た)べ物(もの)は**ヘルシーだ** **と思います。**

↑

ヘルシーです

2. 父(ちち)の写真(しゃしん)は、とても**きれいだ** **と思います。**

↑

きれいです

Noun-predicates also change their forms in the same way as な-adjective.

□ Noun-predicate ＋と思(おも)います（not to appear in the textbook）

1. あしたは銀行(ぎんこう)は**休(やす)みだ** **と思います。**

↑

休みです

2. 机(つくえ)の上(うえ)の本(ほん)は**先生(せんせい)の本(ほん)だ** **と思います。**

↑

先生の本です

Also note that when you find ～と思(おも)います, the subject of 思います are often omitted. You are advised to supply appropriate subject between と and 思います when you use ～と思います.

1. 日本の食(た)べ物(もの)は、とてもおいしいと **わたしは** 思います。
2. 日本の食べ物は、ヘルシーだと **わたしは** 思います。

In addition と as in ～と思います is simply an end-quote marker.

Essay Writing

➢Write your own personal narrative using the texts in Section 1 as models.

著作権保護コンテンツ」

Vocabulary

各(かく)ユニットの Personal Narratives 内(ない)の語彙(ごい)・表現(ひょうげん)
Words and expressions from the Personal Narratives.
〈AGP〉= Additional Grammar Points

Unit 13

毎朝(まいあさ)	every morning
歯(は)	teeth
みがきます	brush
シャワーをします	take a shower
もう一度(いちど)	again, once again
～て〈AGP〉	～ , and ～
～時間目(じかんめ)	class in the ～ period
明(あか)るい	light
もう	already
暗(くら)い	dark
こわい	be afraid
うがいをします	gargle
午前(ごぜん)	the morning
～だけ〈AGP〉	only
実験(じっけん)(を)します	experiment
発表(はっぴょう)	presentation
準備(じゅんび)(を)します	preparation
徹夜(てつや)します	stay up all night
(～することも)あります	sometimes ～
着(つ)きます	arrive
そんなとき	in this case

Unit 14

マンガ	comics
趣味(しゅみ)	hobby
Jポップ(ジェイ)	J-pop
アニメ	animation
DVD(ディーブイディー)	DVD
結婚(けっこん)します	get married
それで〈AGP〉	therefore, and so
始(はじ)めます	begin (jazz)
生(なま)の	live
モーツァルト	Mozart
習(なら)っています	learn
バンド	band
ベース	bass
ひきます〈ピアノを〉	play (an instrument)
曲(きょく)	music, hit, song
演奏(えんそう)します	perform

Unit 15

専門(せんもん)	major
情報工学(じょうほうこうがく)	information engineering
卒業(そつぎょう)します	graduate
進(すす)みます	go on to
将来(しょうらい)	in the future
情報通信(じょうほうつうしん)	information communication
博士課程(はかせかてい)	doctoral course
博士号(はかせごう)	doctoral degree, Ph.D
なります	become, get
就職(しゅうしょく)します	get a job
まだ～ていません〈AGP〉	have not ～ yet

著作権保護コンテンツ」

INDEX

・[U1] = Unit 1
・[U0] = Classroom and Daily Expressions
・[Sup.U.] = Supplementary Unit
・ * = Useful Expressions での“＊”付(つ)きのことば
・〈表〉 = 表現

・〈AGP〉= Additional Grammar Points
・(U5)= Unit5 の Useful Expressions で初出(しょしゅつ)のことば
例：[U7] p.102,(U5)
= Unit7 の Personal Narratives より先(さき)に Unit5 の Useful Expressions で登場(とうじょう)
・〈→ p.7〉= 7 ページ参照(さんしょう)(使(つか)い方(かた)の例(れい)をまとめて掲載(けいさい))

あ

ああ〈表〉	[U7] p.101	(vol.1)
*アイスクリーム	[U3] p.41	(vol.1)
相手(あいて)	[U15] p.22	(vol.2)
会(あ)います[会う]	[U6] p.87	(vol.1)
赤(あか)	[U24] p.102	(vol.2)
明(あか)るい〈性格〉	[U8] p.110	(vol.1)
明(あか)るい〈外〉	[U13] p.2	(vol.2)
秋(あき)	[U9] p.118	(vol.1)
あけます[あける]	[U10] p.137	(vol.1)
あげます[あげる]	[U17] p.40	(vol.2)
あげます[あげる]〈手(て)を〉	[U10] p.135	(vol.1)
あげます[あげる]〈ブラインドを〉	[U10] p.138	(vol.1)
朝(あさ)	[U4] p.50	(vol.1)
朝(あさ)ごはん	[U3] p.32	(vol.1)
足(あし)	[U23] p.92	(vol.2)
味(あじ)	[U6] p.86	(vol.1)
アジア	[U24] p.102	(vol.2)
あした	[U7] p.102,(U5)	(vol.1)
遊(あそ)びます[遊ぶ]	[U21] p.74	(vol.2)
遊(あそ)んでいます	[U8] p.108	(vol.1)
あたたかい	[U9] p.118	(vol.1)
頭(あたま)がいい	[U8] p.108	(vol.1)
新(あたら)しい	[U9] p.124,(U5)	(vol.1)
あっ〈表〉	[U7] p.100	(vol.1)
あつい	[U9] p.118	(vol.1)
あてます[あてる]	[U23] p.92	(vol.2)
後(あと)	[U4] p.53	(vol.1)
兄(あに)	[U2] p.15	(vol.1)
アニメ	[U14] p.10,(U9)	(vol.2)
姉(あね)	[U2] p.15	(vol.1)
アパート	[U19] p.60	(vol.2)
危(あぶ)ない	[U10] p.132	(vol.1)
あまい	[U3] p.34	(vol.1)
雨具(あまぐ)	[U10] p.132	(vol.1)
あまり	[U3] p.33	(vol.1)
雨(あめ)	[U12] p.156	(vol.1)
洗(あら)います[洗う]	[U12] p.154	(vol.1)
洗(あら)っています	[U8] p.115	(vol.1)
*アラビア語(ご)	[U2] p.25	(vol.1)

著作権保護コンテンツ」

INDEX OF GRAMMAR

Unit 13

□ **〜たら①**〈When 〜 ,(immediately 〜).〉

ex. 起き**たら**、すぐに歯をみがきます。

□ **〜てから**〈After 〜〉

ex. 少し勉強し**てから**、うちに帰ります。

□ **〜たら②**〈When / If 〜〉

ex. 10 時に学校を出**たら**、12 時にうちに着きます。

□ **〜とき**〈When 〜〉

ex. ５時間目の授業がある**とき**は、図書館に行きません。

□ **〜ながら**〈While 〜〉

ex. 新聞を読み**ながら**、朝ごはんを食べます。

Additional Grammar Points

□ 〜て〈〜 , and 〜〉：図書館に行って、少し勉強します。

□ 〜だけ〈only 〜〉：授業は、たいてい、午前中だけです。

Unit 14

□ **The Dictionary form of the verb**（See row Ⅲ of tables 3-5 in the Appendix）

ex. **本を読む**のが大好きです。
趣味は、**写真をとる**ことです。

□ **Nominalization of the verb：dictionary form ＋〜の、dictionary form ＋〜こと**

ex. わたしは、**本を読むの**が大好きです。
わたしの趣味は、**写真をとること**です。

Additional Grammar Points

□ それで〈therefore, and so〉：それで、わたしも、写真を始めました。

Unit 15

□ **〜つもりです**〈I intend to 〜〉

ex. 結婚後も、仕事を続ける**つもりです**。

□ **〜と思います**〈I think 〜〉

ex. 大学院で勉強している間は、結婚できない**と思います**。

著作権保護コンテンツ」

NEJ：A New Approach to Elementary Japanese [vol.2]

— テーマで学ぶ基礎日本語 —

2012年8月30日　第1刷 発行

［著者］　西口光一

［発行］　くろしお出版
〒113-0033　東京都文京区本郷3-21-10
Tel : 03･5684･3389　Fax : 03･5684･4762
URL : http://www.9640.jp　Mail : kurosio@9640.jp

［印刷］　シナノ書籍印刷

ⓒ 2012 Koichi Nishiguchi, Printed in Japan
ISBN 978-4-87424-562-0 C0081

乱丁・落丁はお取り替えいたします。本書の無断転載・複製を禁じます。

■ 英語校正
Ruth Bolton

■ 音声収録
VOICE- PRO

■ 本文イラスト
須山奈津希

■ 装丁デザイン
スズキアキヒロ

■ 本文デザイン
市川麻里子

著作権保護コンテンツ」